



■ 霜月 11月

めっきり気温が下がってきました。『秋の日はつるべ落とし』と言われますが、陽の傾きも増して随分と昼の時間が短くなってきたようです。

夕日のもとでは光が大気の中を長く通り越して来るため、景色は赤みを帯びて見えますが、歌にもあるようにこのシーズンには紅葉したモミジが一段と映えることでしょう。

写真の五重塔も赤みを増して見えていますが、この手前にある木は夏にトンネルをなすがごとく青々と葉を密集させていた桜の木です。葉はほとんど落ちて寒々とした様相を呈していますが、五重塔を照らすほのかに暖かさを感じさせる夕日が好対照となっているようです。

コロナは夏の時のような勢いは収まったとはいえ、感染者数は全国的にみると1万人台の時もあれば3万人、4万人台の日もあり、収束の方向は見えていません。

このような中で、入国制限が大幅に緩和されて海外からビジネスや観光で日本を訪れる人が増え、国内でも国の政策として全国旅行支援が始まり人の動きが活発になってきています。

秋の観光シーズン、年末にかけての忘年会などがその動きに拍車をかけることになるでしょう。

インフルエンザ感染拡大も懸念されています。十分に気を付けなければなりませんね。

■ 活動報告「10月度 Online 会合」

10月25日(火)に「読映会」として、昭和30年代に記録された東京の映像を観て、当時の思い出を語り合いました。昭和39年(1964年)のオリンピック開催を目指して東京の街並みが劇的に変化した時代です。

当時の流行歌も時代を反映していたようです。報告にはその資料も添えられています。次をご覧ください。
<http://jvc-senior.com/20221025online.pdf>



■ 都道府県魅力度ランキング

先月、全国都道府県魅力度ランキングが発表されました。今年で17回目だそうです。埼玉・茨城・栃木・群馬の4県は毎年のように下位グループから抜け出すことができていません。今年も万年最下位と言われる茨城県が順位を一つ上げて46位となり佐賀県にその地位を譲りました。茨城県内では自虐的にか「最下位を返せ！」との声もあったと報道されていました。

ランキング調査については次をご覧ください。

<https://diamond.jp/articles/-/310887>

全国市町村の魅力度も発表されており、横浜市が札幌、京都、函館に続き4位に入っています。

尚、今年も地元住民による地元の魅力度も調査しており、全国国民対象の認識との違いを比べてみてください。
<https://diamond.jp/articles/-/308052>

■ 円安 その2

前号でも円安について述べていますが、10月から外国人の入国制限が大幅に緩和され、日本を訪れる観光客が一気に増えたようです。



その観光客にしてみると円安により日本での買い物に割安感があって、土産物や日本でしか売られていないもの、品質の高い日本国産の日用品など爆買いが行われている様が報道されていました。

良い円安・悪い円安とあるようですが、この面では日本にとっても、海外からの観光客にとっても両者共に得をしているようです。

他方、資源や食料品など輸入に依存しているものは随分と高い買い物になって毎日の生活に跳ね返ってきています。これは悪い円安です。

日本が海外に持つ資産の価値が円換算で大幅に高くなったと喜んでいる人もいるでしょうが、一方で日本国内の不動産は海外の人から見ると相対的に値を下げていることになり、海外からの買い占めが心配されています。

急激な円安に対して、時として5円ほどの円高に戻ることがあり、「国がこの円安に対して覆面介入をしている」といわれていますが国はそれを明らかにせず、一国だけの単独介入ではその効果も一時的なものになってしまっています。

ドル高、円安の根本的な原因を正すこと無く、この覆面介入は場当たりの対処としか思えません。

米国ではインフレが続く景気を抑制するために金利を引き上げています。しかし日本では賃金上昇もなく、デフレ傾向で一向に景気上昇の兆しが見えてきません。いくら金利を低く保っても国民の気持ちが動かないのが原因でしょう。

金があれば使う米国と、金があれば貯めてしまう日本との国民性の違いによるところが大きいかもしれませんが、将来に不安を持つことなく今、金を使うことができる環境を創り出すことが必要です。

政府は「財政支出総額39兆円の総合経済対策」（補正予算一般会計支出29兆円程度）を発表する中で、テレビの中ではある人がこう言っていました。「大企業の社内留保が増えているが、その経営者は金の使い方を知らない無能な人である。金は寝かしておいては何の役にも立たない。今こそ企業発展のために投資するか、社員に還元すべきである」と。

はて、これを素直に聞く耳を持つ経営者はどれだけいるのでしょうか。

■ 地球防衛計画：DARTの実験成功

国連を中心に宇宙より落下する巨大隕石からどのように地球を護るかの検討が行われています。米国 NASA は探査機 DART を小惑星に衝突させて小惑星の軌道を変えようとする実験を行いました。

<https://sputniknews.jp/20220927/13098314.html>

この URL には DART が小惑星に衝突する瞬間が映っています。衝突成功で歓声が上がっていますが、はてそれで軌道が変化するのでしょうか？ その後も小惑星の軌道観測を続け10月11日に実験成功の報道がありました。下記 URL をご確認ください。



記事&図: <https://www.bbc.com/japanese/63224629>

地球上では争いごとが絶えませんが、こんな小惑星が地上に落下したら、その破壊力はミサイルや核爆弾などの比ではないんでしょうけどね〜。

■ 事務局から【終身会員の皆様からのお便り】

会員の皆様には年会費納入のお願いをしておりますが、終身会員の皆様には近況報告のお願いをしておりました。今までにいただいた中からいくつかを要約してご紹介します。(お名前は割愛します。)

- ・ 毎日ウォーキングしています。口は達者ですが、頭の回転は少し鈍くなったようで、そろそろ運転免許証の返納をしようかと思っています。
- ・ 身体は廃車寸前なのに部品交換もできず薬が増えています。しかし心はいつまでも新車同様に保つべく図書館に通っています。
- ・ コロナで外出機会も少なくなりましたが、ゴルフは続けています。
- ・ 怪我をして2カ月も入院。退院後は通院・買い物などの際に介助を受けているが、早く一人で外出できるようにがんばります。
- ・ 87歳もの長い道のりの中には苦もあり楽もあり。今、ホッと一息という所です。人生100年、これからもまだまだいろいろあることでしょう。

☆ 菅沼前会長の奥様からは代筆で「コロナのため直接会うことができないが、食欲もあり容体は安定しており元気です。」と頂きました。

終身会員の方に限らず、会員皆様からも一筆、近況報告など送っていただければ幸いです。

事務局長 田代 周